

## 6. 鳳凰三山

### 1) 日程

1984年11月10日～11月12日（前夜発1泊2日天幕）

### 2) コース

第1日 御座石鉱泉—西平—旭岳—燕頭山—鳳凰小屋—地藏岳—鳳凰小屋

第2日 鳳凰小屋—燕頭山—西平—御座石鉱泉

### 3) 記録&コースタイム

年月日	時間		場所	備考
1984.11.10	06:00	発	御座石鉱泉	明るくなってから出発。
	06:45	通過	西平	厚く降り積もった落ち葉を踏む、自分の足音だけが山に響く。晩秋の山はとても静かだ。
	07:17			日が射し始める。
	08:22	着	レスト	
	08:32	発		
	08:38	通過	7合目	
	08:45	通過	8合目	
	09:00	通過	旭岳	小さな祠がある。
	09:30	通過		右側ガレ場の縁。
	09:36	着	燕頭山	熊笹で覆われた平坦な山頂。鳳凰稜線の山頂部のみ、まだらに雪がついているようだ。
	10:30	発		
	10:25	通過		尾根道の急なのぼりとなり、その後道は尾根の右斜面に行くようになる。陽射しが無くかなり気温が低いようだ。
				ガレ場の下の方でガサガサと大きな音がするので目をやると、黒い大きなお尻が藪の中の消えていき、バキバキと枯れ枝の折れる音が遠ざかって行く。熊だと思い一瞬立ちすくむが、本当に恐ろしかったのは、熊のほうだったのかもしれない。
	11:00	通過	崩壊地	日陰には雪が現れる。

1984.11.10	11:05	着	レスト	岩峰。日当たりがよい。
	11:20	発		
	11:30	着	鳳凰小屋	テントを張り、カメラだけ持ち、空身で稜線へ。白根三山から吹いてくる風は、冬の厳しさを漂わせている。
	12:45	発		
	13:15	通過	鞍部	
	13:28	着	地蔵岳	山頂付近をブラブラしながら写真を撮る。
	14:05	発		
	14:31	着	鳳凰小屋	
1984.11.11	05:15	起床	鳳凰小屋	夜半から降り始めた激しい雨は、夜が明けてもやむ気配もなく、稜線での風雨を考え縦走はあきらめる。残念だが昨日のうちに地蔵岳だけでも山頂を踏んでおいたので、自分なりに納得して下る。
	07:40	発		
	08:42	着	燕頭山	
	08:45	発		
	09:40	着	西平	
10:15	発	御座石鉱泉	濡れて冷え切った体に、鉱泉の熱いお湯が気持ちよい。雨の山にもそれなりの楽しみ方があるものなどと、一人大満足で湯につかる。	